

## 【品川区】 胃がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

＜国の指針に基づく胃がん検診の実施状況＞

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胃部X線検査）	している

＜国の指針に基づくもの以外の実施状況＞

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

＜住民の検診受診状況＞

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	91,526	100,907	192,433
【東京都調査による対象者率（区部）：60.5%】			
実際の受診者数	2,255	2,450	4,705

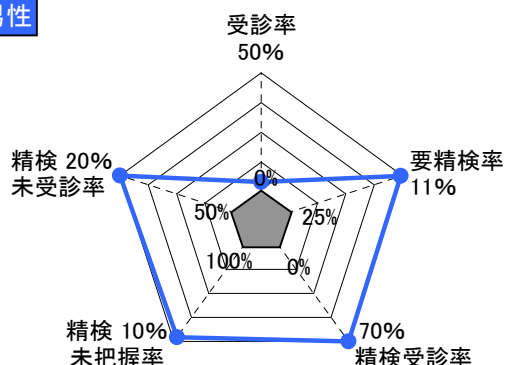
＜区市町村の受診率向上（精検含む）体制＞

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

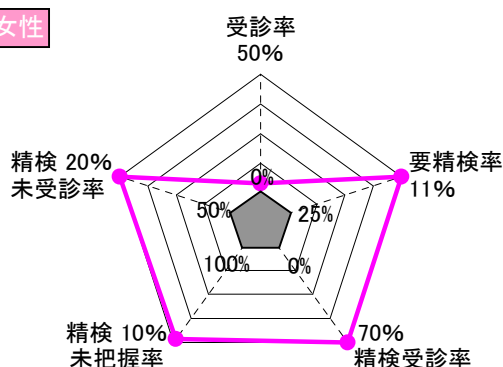
＜がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）＞

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	4.1%	4.0%	4.0%
要精検率	11%以下	11.2%	9.8%	10.5%
精検受診率	70%以上	85.8%	86.7%	86.2%
精検未把握率	10%以下	14.2%	13.3%	13.8%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	3.2%	1.2%	2.2%
がん発見率	0.11%以上	0.35%	0.12%	0.23%

男性



女性



【評価結果】

＜受診率＞

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

＜要精検率＞

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんでなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

＜精検未把握率＞

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

## 【品川区】 肺がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	胸部X線またはヘリカルCT検査 (選択制)

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	91,526	100,907	192,433
【東京都調査による対象者率(区部): 66.6%】			
実際の受診者数	2,286	3,237	5,523

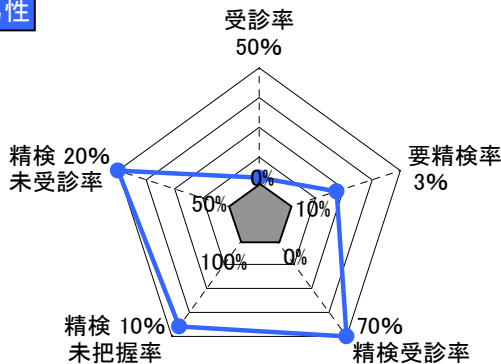
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

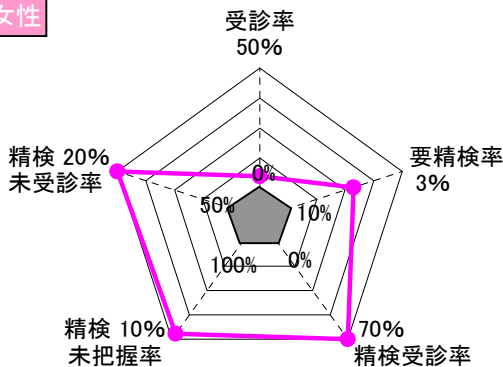
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	3.8%	4.8%	4.3%
要精検率	3%以下	7.0%	6.0%	6.4%
精検受診率	70%以上	80.5%	85.1%	83.0%
精検未把握率	10%以下	19.5%	14.9%	17.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	0.6%	0.5%	0.6%
がん発見率	0.03%以上	0.04%	0.03%	0.04%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

## 【品川区】大腸がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	91,526	100,907	192,433
【東京都調査による対象者率（区部）：66.3%】			
実際の受診者数	11,818	19,095	30,913

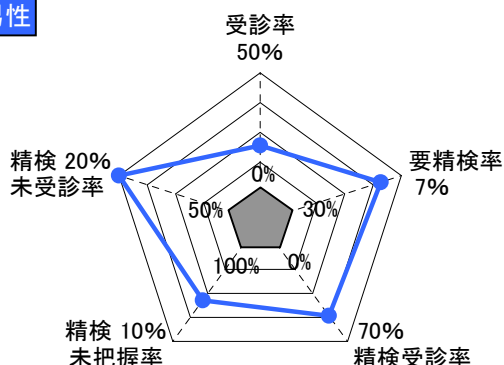
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

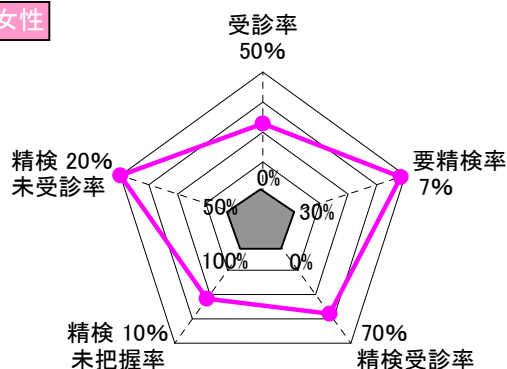
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	19.5%	28.5%	24.2%
要精検率	7%以下	11.2%	7.9%	9.2%
精検受診率	70%以上	51.4%	48.8%	50.0%
精検未把握率	10%以下	48.6%	51.2%	50.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	4.4%	4.0%	4.2%
がん発見率	0.13%以上	0.50%	0.31%	0.38%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にし、問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【品川区】子宮頸がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		156,777	
【東京都調査による対象者率（区部）：63.7%】			
実際の受診者数		25,225	

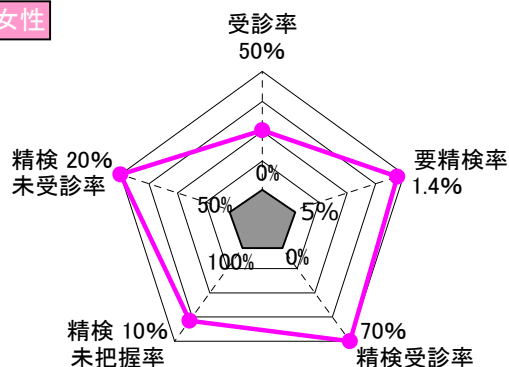
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		25.3%	
要精検率	1.4%以下		1.6%	
精検受診率	70%以上		71.0%	
精検未把握率	10%以下		29.0%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		7.4%	
がん発見率	0.05%以上		0.12%	

女性



### 【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

【品川区】乳がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（視触診及びマンモグラフィ）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	34～38歳
左記以外の検査の実施	超音波検査（上記年齢対象及び40歳以上の希望者に追加）

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		100,907	
【東京都調査による対象者率（区部）：72.3%】			
実際の受診者数		14,263	

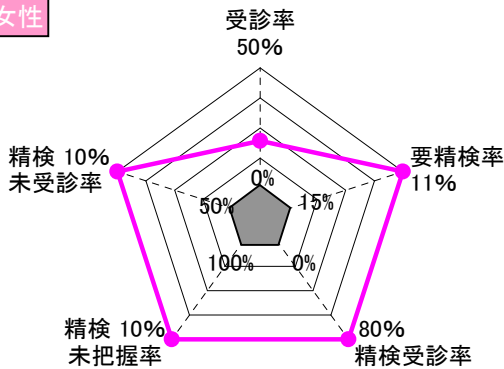
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	している
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		19.6%	
要精検率	11%以下		5.6%	
精検受診率	80%以上		91.1%	
精検未把握率	10%以下		8.9%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		9.2%	
がん発見率	0.23%以上		0.51%	

女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。